

令和の時代

古堅中学校

二年一組

池原

愛果

「令和」これは四月一日に発表された新元号です。みなさんは、新元号の漢字を予想することができたか。またどのような時代になったか。

私は、アメリカと沖縄の関係が大きく変化できる時代になったか。新しいと考えました。その思う例が二つあります。

まず一つ目は、アメリカ軍基地から飛ばされる飛行機の事故やアメリカ軍による事件、辺野古基地での問題などテレビでもよく見られる事が平成の時代ではとても多くありました。そこで令和の時代は、沖縄の人達が静かに暮らしやすい所になったか。授業中ではある飛行機の騒音もなくなり、授業に集中できやすくなると思います。また、こういった問題がニュースでもとりあげられなくなっているのか。最終的には基地も無くなるか。新しい暮らし、最終的には基地も無くなるか。新しい暮らしやすき環境に変わっていくか。

とも思っています。基地が無くなっ
たらその土地にショッピングセン
ターが建ったり、公園が
できたりと、身近にいろいろ
な物ができると私は考えまし
た。

二つ目は、トリエステショ
ンについてです。皆さんの中
で何人かは、トリエステシ
ョンの中に土地があるたり、
お墓がある人がいると思
います。私はトリエステシ
ョンの中に、お父さん、お
じいちゃん先祖の遺骨が
入ったお墓があります。年
に一度、清明祭

シーミーというお墓参りを
する沖縄の行事があります。
今年も私は家族と行きました。
ですが、トリエステショ
ンに入る前に、公民館から
通行許可証をもらわないと
中に入ることができません。
何で、自分達の土地なのに
許可がいるのか、と思いま
した。自分達の土地だから
家柄たいに自由に出入り
できるような時代は、そう
いって変化があったはず
です。自由に出入りできる
ような時代は、自由な時代
です。許可をもらわずにい
つてもお墓参りをしたり

掃除をやることかできないと思います。

このことから、命和の時代では、アメリカと沖縄の関係が前に上がった二つの例のように大きく変化してほしいと思います。私も達もこういう大きな問題を日頃から気にしていかないとダメです。命和の時代から沖縄を自分達のカンでできるかぎり変えていくために、小さな事からでも始めていくと思います。